

3 Model Cases !!

卒業生モデルケース | 公務員・民間企業・法律専門職

Model Case. 1 公務員



芳賀 薫 さん
 仙台法務局 勤務 (2023年 卒業)

東北学院大学の法学部は、コース選択があることから卒業後の自分の進路をより具体的に意識しながら勉学に励むことができるという魅力があります。
 また、法学部では1年生からゼミに所属することができます。ゼミでは、より深い法律への理解や知識が必要になるため、自ら意欲的かつ継続的に学ぶ習慣を身につけることができました。そのため、法的知識や思考力に加え、ゼミで身につけた学習習慣を、幅広い科目を一定期間に渡って勉強しなければならない公務員の試験勉強に役立てることができたと感じています。また、ゼミでのディスカッションや発表は、自分の考えを自分の言葉で他者に分かりやすく伝える練習になるため、公務員試験の2次試験にある面接に生かすことができました。
 他にも、先輩の体験談や様々な職種の方々の話を聞く機会等が設けられており、多くの先生方や学生の皆さんと出会う機会があることから、自分の知見や視野を広げることができます。
 本学でのみなさんの学生生活が有意義な4年間になることを心から願っています。

主な進路

公務員
 国家公務員一般職
 国税専門官
 皇宮護衛官
 刑務官
 裁判所事務官(一般職)
 自衛隊幹部候補生(一般・海上)

地方公務員(宮城県・上級・行政)
 地方公務員(仙台市・上級・事務)
 地方公務員(東京都特別区)

地方公務員(宮城県・警察官)
 地方公務員(仙台市消防局)
 地方公務員(福島県・警察官)

教員
 宮城県教員(中学・社会)
 宮城県教員(高校・地理)
 埼玉県教員(小学校) など

Model Case. 2 民間企業



安藤 謙伸 さん
 株式会社ユアテック 勤務 (2023年 卒業)

東北学院大学の法学部は、日常生活で馴染みのある法律や専門的な法知識を学べるだけでなく、将来について視野を広げることができる学部です。入学当初は、漠然と「将来は公務員になろう」と考えていました。しかし、法学部で学びを深めていく中で、様々な進路先に可能性を見出すことができました。
 法学部は、学生生活の中で多くの学生や教員と出会い、様々な価値観を知り、自己の視野を広げることができます。なかでも私は、1年次から参加できる基礎演習で行うディベートなどを通じて、自分の意見を発信し、また他の法学部生の意見に触れることで物事を多角的に考えることができるようになりました。
 また、3、4年次から参加できるゼミでは他大学との交流活動を通じて、私たちが知らない世界や知識を学ぶことが出来ます。
 このような経験を数多く積むことが出来たため、「民間への就職」という視点にも気づくことが出来ました。多くの先生方は、就職活動の書類添削、面接対策を行ってくださり、親身にご指導いただきました。
 皆さんも東北学院大学法学部で実りある4年間を過ごしてみませんか。

主な進路

金融業
 (株)七十七銀行
 第一生命保険(株)
 (株)みずほフィナンシャルグループ
 三井住友海上火災保険(株)

サービス業
 NTTファイナンス(株)
 仙台国際ホテル(株)

建設業
 (株)一栄工務店仙台
 セキスイハイム東北(株)

製造・運輸・通信業
 東北電力(株)
 東日本旅客鉄道(株)
 ヤマト運輸(株)

卸売・小売業
 カメイ(株)
 リコージャパン(株)
 生活協同組合コープみらい
 トヨタカラー宮城(株) など

Model Case. 3 法律専門職



古山 錬 さん
 東北大学法科大学院 在籍 (2023年 卒業)

私は、法曹という職業に漠然とした憧れを抱きながら入学し、法科大学院進学を目指して4年間勉強してきました。そして、無事に合格することができました。ここで、私が法学部での大学生活において、合格に寄与したと考えるものを皆さんに紹介したいと思います。
 まずは、「法曹養成実習」です。私は、そこで法科大学院での教員経験がある先生などに法曹という職業の魅力について教えていただきました。それにより、勉強のモチベーションを上げることができました。自分が目指すものを明確に捉えることができたからです。
 次に「萩風会」というサークルです。萩風会は学生同士で集まって勉強をするサークルです。そこでは、教えてもらう人はもちろん、教える人も知識や考え方を再確認できます。私は当サークルの代表も務めながら多くの活動に参加してきましたが、先輩や仲間と繋がることによって、勉強の効率を最大限に上げることができました。
 以上のように、東北学院大学法学部は法曹を目指す環境が整備されています。皆さんも自らの目標・信念を持って4年間を過ごしてみませんか。

主な進路

法科大学院 進学
 東北大学
 中央大学
 上智大学
 法政大学
 慶應義塾大学

大学院 進学
 東北学院大学
 東北大学
 中央大学
 宮城教育大学
 上越教育大学

弁護士
 司法書士
 行政書士
 税理士 など

法学部での活動を覗いてみませんか？

『Jura ~法学部生の日常~』

随時更新中

こちらからアクセス！

「東北学院大学」HP → 「法学部」 → 「Jura ~法学部生の日常~」
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law>



交通アクセス



土樋キャンパス

○仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約5分
 ○仙台駅より地下鉄南北線富沢駅にて「五橋駅」下車 徒歩約5分

五橋キャンパス

○仙台駅前より徒歩約15分
 ○仙台駅前より長町方面バスにて「五橋駅」下車 徒歩約1分
 ○仙台駅より地下鉄南北線富沢駅にて「五橋駅」下車 直結

お問い合わせ

東北学院大学 法学部

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp>

Think Legally, For Human Dignity

Faculty of Law Guide 法学部

2023 ▶ 2024

法学部生に聞きました / 入学してよかったこと、楽しかったことは何ですか？



TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
 東北学院大学

4 Years School Life !!

法学部ライフモデルケース（4年間）



1 年次 **自由な大学生活のはじまり**
入学前は友達が出来ると不安でしたが、入学後のオリエンテーションの中ですぐに多くの友達が出来ました。友達と相談しながら時間割を自由に決めていく場面では、高校までとは異なる自由を感じました。また、部活動に入部することで、他学部の先輩や友達に出会うことができ、私の充実した大学生活がスタートしました。



伊東 裕衣香さん
2023年卒業
株式会社カチタス 勤務
宮城県 東北高等学校出身



2 年次 **何にでも挑戦できる時期**
2年次になると大学の生活にも慣れ、様々なことに挑戦出来るようになります。長期休みでは、長期インターンシップに参加し、プレゼンテーション能力や資料作成能力など、自分に足りない能力を重点的に強化することが出来ました。2年次は、自由だからこそ、自分で行動しなければならぬ経験できないということを実感した一年でした。

3 年次 **就職活動と部活動の両立**
3年次では、就職活動の一環で企業のインターンシップや早期選考に参加し、企業の分析や自己分析に励むと同時に、自分の将来やりたいことを模索しました。部活動では、部員を引っ張っていく学年として行事全般の運営を担当しました。就職活動と部活動を両立し、どちらも懸命に取り組むことで多くの学びを得ることが出来ました。



4 年次 **4年間の集大成**
4年次では4年間の法学部での学びを活かし、宅地建物取引士の資格取得に挑戦しました。半年間かけて勉強に取り組み、法律の知識を深めることが出来ました。部活動においては、主将という立場で、後輩育成・組織マネジメントに取り組み、最後の大学生活を楽しみました。大学4年間の集大成として、成果を残すことができた一年でした。

新入生へ一言。
大学では、高校までの義務教育とは異なり、自由に学びや経験を選択できます。それは裏を返せば全てが自己責任、主体的にならなければ、何も成さぬまま4年間が過ぎていくということです。これから入学する皆さんには、ぜひ入学前に大学生になったらどんなことを学び、どんな経験をしたいのか考えておくことをおすすめします。一例として、私は入学前、大学でしかできないような経験がしたいと考え、部活動に所属しました。その結果、貴重な経験をすることができ、大切な仲間とかけがえない思い出を作ることができました。皆さんも、多くの選択肢の中から悔いのない選択ができるよう自分と向き合い、そして様々なことに挑戦できる本学で、充実した大学生活を送りましょう。



学習の流れと主な講義

1 年次 「TGベーシック」という教養教育科目により人間の幅を広げ、知的基礎を学びます。「リーガルリサーチ」などの法学の導入科目も充実しています。



民法総則Ⅰ / 羽田さゆり先生
「人」とは、「物」とは、何だろう？ 法律の世界での言葉の意味を学びます。

2 年次 憲法・民法・刑法などの基本的な科目を中心に、本格的な法律学習が始まります。3年次のコース選択に向けて、興味・関心を広げていきます。



物権法Ⅰ / 石垣茂光先生
不動産は暮らしの基礎を支える重要な財産。その不動産を守る方法を学びます。

3 年次 充実した専門科目により、法的思考に磨きをかけます。少人数のゼミナール(演習)が本格的に始動し、積極的に学ぶ姿勢をサポートします。



刑事訴訟法 / 富田真先生
裁判員制度を背景に、刑事裁判はますます身近になりつつあります。

4 年次 専門科目、ゼミナールと並行して就職活動を行う総仕上げの一年。「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」生かす姿勢を身につけます。



演習二部(卒業研究・論文) / 玉井裕貴先生
4年間の学修成果を活かして最新判例の研究に取り組み、社会における法の役割を深く理解します。

One Day Snap !!

法学部ライフモデルケース（1日）

2 年生のモデルケース
茂木 亜優美さん
第一学院高等学校出身

8:20 登校 1
通学には地下鉄を利用します。運動のために駅までは歩くようにしています。早めに登校をして、学内で勉強することもあります。

8:50 講義 2
2年生までは、専門教育科目以外に教養教育科目も多く履修します。専門以外の分野を学ぶことで、実社会でどのように法学の知識を活かすべきかを考えることができます。

12:30 昼食 3
お昼は友人と学生食堂に行くことが多いです。授業の合間にリフレッシュの時間にもなります。個人的にはカツカレーがおすすめです。

13:00 講義(ゼミ) 4
ゼミでは日頃の学びを活かしつつ、一つの問いを深く捉えます。同じゼミ生や先生との意見交換をしながら、判例を的確に読み解いたり、法的に考えたりする力を養います。

18:00 帰宅
帰宅後は、パソコンを用いて講義の課題に取り組むことが多いです。他にも、サークル等の活動や、アルバイトに行くこともあります。学生生活では、時間管理が何より重要です。



4 年生のモデルケース
千葉 堅斗さん
宮城県佐沼高等学校出身

10:00 登校 1
4年次は選択する科目が少ないですが、時間に余裕をもって登校しています。

11:00 自習 2
大学内には自習できるスペースがたくさんあります。私はよく図書館やホワイ記念館1階のパン屋で勉強や読書をしています。また図書館の判例集やデータベースを使い、ゼミに向けて熱心に予習や復習に取り組んでいます。

12:00 昼食 3
お昼は友人と過ごします。学食を利用したり、近くの飲食店にいたり、オンオフを切り換えてリフレッシュする時間になっています。

13:00 講義(ゼミ) 4
私のゼミでは全国合同ゼミを意識しながら発表や討論をしています。一筋縄ではない事例も多いですが、それぞれ自分なりの意見をもって積極的に学んでいます。

17:00 帰宅
授業後は、友達と談笑したり、買い物したり、カフェで勉強してから帰宅します。

